

電話サービスのカスタマイズ

ユーザオプション Web ページから、電話サービスへの登録と電話サービスのカスタマイズを行うことができます。

サービスの内容は次のとおりです。

- Web ベースの情報（株式相場、映画情報、気象情報など）
- ネットワーク データ（社内カレンダー、検索可能なディレクトリなど）
- 電話サービス（ファースト ダイアル、個人アドレス帳など）

オプション サービスを利用するために必要な最初のステップは、Web でそのサービスに登録することです。次のステップはサービスを設定することです。サービスへの登録が完了したら、電話機でサービスを表示して変更することができます。電話機からサービスにアクセスするには、電話機のモデルに応じて、サービス ボタンを押すか、または [メニュー] > [サービス] の順に選択します。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- Web によるサービスへの登録方法 (P.8)
- 設定済みのサービスのカスタマイズ方法と使用方法 (P.10)

Web によるサービスへの登録方法

次の表は、ログインしてデバイスまたはプロフィールを選択した後にユーザオプション Web ページでサービスに登録する方法について説明しています（ログイン方法については、P.2の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください）。



- (注)
- エクステンション モビリティなど、いくつかのサービスは必須であるため、ユーザではなくシステム管理者が設定します。
 - この項では、特定の Cisco IP Phone で利用可能なサービスについて説明しています。電話サービスの利用について不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

目的	ログインしてデバイス タイプまたはプロフィールを選択した後の操作
サービスに登録する	[メインメニュー] > [Cisco IP Phone サービスの設定] の順に選択します。 [使用可能なサービス] ドロップダウン リストからサービスを選択し、[続行] をクリックします。指示に従って情報（郵便番号や PIN など）を入力し、[登録] をクリックします。
登録を変更または解除する	[メインメニュー] > [Cisco IP Phone サービスの設定] の順に選択します。 [登録されているサービス] パネルのサービスをクリックして登録内容を変更します。[更新] または [登録解除] をクリックします。
電話機からサービスにアクセスする	設定済みのサービスを表示するには、電話機で サービス ボタンを押すか、または [メニュー] > [サービス] の順に選択します。あるいは、プログラマブル ボタンにサービスを割り当てた場合は、プログラマブル ボタンを押します。
個人アドレス帳サービスのカスタマイズおよび使用	P.10 の「個人アドレス帳の使用方法」を参照してください。
ファースト ダイヤル サービスのカスタマイズおよび使用	P.14 の「ファースト ダイヤルの使用方法」を参照してください。
エクステンション モビリティ サービスのカスタマイズおよび使用	P.16 の「エクステンション モビリティの使用方法」を参照してください。
Web Dialer 機能のカスタマイズおよび使用	P.18 の「Cisco Web Dialer の使用方法」を参照してください。



ヒント

- エクステンション モビリティを使用する場合、ユーザオプション Web ページで行った変更は、電話機でエクステンション モビリティ サービスに次回ログインしたときに有効になります。
 - ワンタッチ操作で [ファースト ダイヤル] メニューにアクセスするには、使用可能なプログラマブル ボタンにファースト ダイヤル サービスを割り当てます。
 - 同じサービスに複数回登録して、同じサービスの各インスタンスに固有の名前を付けることができます。たとえば、複数の地域について天気予報サービスに登録する場合、サービスの地域ごとに異なる名前を付けることができます。
-

設定済みのサービスのカスタマイズ方法と使用方法

電話サービスを設定できたら、自分のコンピュータや電話機から電話サービスをカスタマイズしたり使用したりすることができます。各サービスは操作手順が異なるので、電話機に設定したサービスについて説明している項を参照して、そのサービスのカスタマイズ方法と使用方法を確認してください。

サービスの設定方法については、P.8の「Webによるサービスへの登録方法」を参照してください。

特定のサービスのカスタマイズ手順と使用手順については、次のトピックで説明しています。

- 個人アドレス帳の使用方法 (P.10)
- ファーストダイヤルの使用方法 (P.14)
- エクステンションモビリティの使用方法 (P.16)
- Cisco Web Dialerの使用方法 (P.18)

個人アドレス帳の使用方法

個人アドレス帳サービスを使用すると、社内外の人々の名前と電話番号を保存できます。また、個人アドレス帳のエントリにファーストダイヤルコードを割り当て、それを電話番号の代わりにダイヤルすることもできます。

Cisco IP Phone から、個人アドレス帳サービスを使用してエントリを検索し、コールを発信できます。



(注) 電話機の個人アドレス帳サービスの正確な名前は、システム管理者がサービスを設定した方法によって異なる場合があります。

次の表は、個人アドレス帳サービスの使用方法について説明しています。

目的	操作
個人アドレス帳サービスに登録する	[メインメニュー] > [Cisco IP Phone サービスの設定] の順に選択します。 [使用可能なサービス] ドロップダウンリストから [個人アドレス帳] を選択し、[続行] をクリックして [登録] をクリックします。
ユーザオプション Web ページから新しいエントリーを作成する	ユーザオプション Web ページにアクセスします (手順については、P.2 の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。このサービスに登録した後に、[メニュー] > [Cisco 個人アドレス帳の設定] の順に選択します。手動でエントリーを追加するには、[新しいエントリーの追加] をクリックします。Synchronizer アプリケーションを使用してエントリーを追加するには、P.12 の「Synchronizer のインストール」を参照してください。
ユーザオプション Web ページからエントリーを編集する	ユーザオプション Web ページにアクセスします (手順については、P.2 の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。次に、[メニュー] > [Cisco 個人アドレス帳の設定] の順に選択します。名前のフィールドに部分的または完全な情報を入力し、[検索] をクリックします。検索結果から名前をクリックして完全なエントリーを表示します。変更を加え、[更新] をクリックします。
電話機のエントリーを編集する	[サービス] > My Address Book (サービスの名前は異なる場合があります) の順に選択します。キーパッドを使用して部分的または完全な名前を入力し、[サブミット] ソフトキーを押します。検索結果を 1 つ選択し、[編集] ソフトキーを押します。[名前] ソフトキーまたは [電話] ソフトキーを押して変更を加え、[サブミット] と OK を押します。
電話機のエントリーからダイヤルする	[サービス] > My Address Book (サービスの名前は異なる場合があります) の順に選択します。キーパッドを使用して部分的または完全な名前を入力し、[サブミット] ソフトキーを押します。検索結果を 1 つ選択し、[ダイヤル] ソフトキーを押します。
ユーザオプション Web ページからエントリーを削除する	ユーザオプション Web ページにアクセスします (手順については、P.2 の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。次に、[メニュー] > [Cisco 個人アドレス帳の設定] の順に選択します。名前のフィールドに部分的または完全な情報を入力し、[検索] をクリックします。削除するエントリーの横にあるチェックボックスをクリックし、[選択項目の削除] をクリックします。

目的	操作
Microsoft のアドレス帳アプリケーションと同期させる	P.12 の「Cisco IP Phone Address Book Synchronizer の適用」を参照してください。
ファースト ダイヤルコードをエントリに割り当てる	P.14 の「ファースト ダイヤルの使用方法」を参照してください。

Cisco IP Phone Address Book Synchronizer の適用

このツールは、Microsoft Windows、Microsoft Outlook、または Microsoft Outlook Express のアドレス帳に保存されているデータを Cisco CallManager ディレクトリおよび個人アドレス帳サービスと同期させるために使用します。

インストールおよび設定については、次の手順を参照してください。

Synchronizer のインストール

ステップ 1 システム管理者から Cisco IP Phone Address Book Synchronizer のインストーラを入手します。

ステップ 2 システム管理者から入手した TabSyncInstall.exe ファイルをダブルクリックします。

Welcome to Cisco IP Phone Address Book Synchronizer ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 **Next** をクリックします。

License Agreement ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 使用許諾契約の内容を読み、**Yes** をクリックして同意します。

Choose Destination Location ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 アプリケーションをインストールするディレクトリを選択し、**Next** をクリックします。

Start Copying Files ウィンドウが表示されます。

ステップ 6 選択したディレクトリが正しいことを確認し、**Next** をクリックします。

インストール ウィザードによってアプリケーションがコンピュータにインストールされます。インストールが完了すると、InstallShield Wizard Complete ウィンドウが表示されます。

ステップ 7 **Finish** をクリックします。

ステップ 8 プロセスを完了するには、P.13 の「Synchronizer の設定」を参照してください。

Synchronizer の設定

ステップ 1 Cisco IP Phone Address Book Synchronizer を開きます。

デフォルトのインストール ディレクトリを受け入れた場合は、[スタート] > [プログラム] > **Cisco > IP Phone Address Synchronizer** の順に選択してアプリケーションを開くことができます。

ステップ 2 ユーザ情報を設定するために **Password** ボタンをクリックします。

Cisco IP Phone User ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 Cisco IP Phone のユーザ名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

ステップ 4 同期規則を設定するために **Rules Options** ボタンをクリックします。

ステップ 5 使用する同期方式を選択し、**OK** をクリックします。

ステップ 6 Cisco CallManager の情報を設定するために **CCM Server** ボタンをクリックします。

Configure Cisco CallManager Web Server ウィンドウが表示されます。

ステップ 7 Cisco CallManager の IP アドレスまたはホスト名を入力し、**OK** をクリックします。

これらの情報がわからない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

ステップ 8 **Password** ボタンをクリックします。

Cisco IP Phone User ウィンドウが表示されます。

ステップ 9 Cisco IP Phone User Options アプリケーションのユーザ ID とパスワードを入力します。

ステップ 10 ディレクトリの同期プロセスを開始するために **Synchronize** ボタンをクリックします。

Synchronization Status ウィンドウには、アドレス帳の同期のステータスに関する情報が表示されます。重複エン트리規則としてユーザが判断する方法を選択した場合にアドレス帳エントリが重複しているときは、**Duplicate Selection** ウィンドウが表示されます。個人アドレス帳に含めるエントリを選択し、**OK** をクリックします。

ステップ 11 同期が完了したら、**Exit** をクリックして Cisco IP Phone Address Book Synchronizer を閉じます。

ファースト ダイヤルの使用方法

ファースト ダイヤル コードは 1 桁または 2 桁のインデックス コード (1 ~ 99) であり、電話番号またはアドレス帳エントリに割り当てることができます。ファースト ダイヤル コードを使用してコールを発信するには、電話機のタッチスクリーンのメニューからファースト ダイヤル インデックス コードを選択します。完全な番号をダイヤルする必要がありません。



(注) 電話機のファースト ダイヤル サービスの正確な名前は、システム管理者がサービスを設定した方法によって異なる場合があります。

次の表は、ファースト ダイヤル コードの設定方法と使用方法について説明しています。

目的	操作
ファースト ダイヤル サービスに登録する	<p>ユーザオプション Web ページにアクセスします（手順については、P.2の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください）。次に、[メインメニュー] > [Cisco IP Phone サービスの設定] の順に選択します。[使用可能なサービス] ドロップダウンリストから [ファーストダイヤル] を選択し、[続行] をクリックして [登録] をクリックします。</p>
ユーザオプション Web ページからファーストダイヤルコードを割り当てる	<p>[メニュー] > [Cisco 個人アドレス帳の設定] の順に選択し、[ファーストダイヤル] および インデックス コード (1 ~ 99) をクリックします。[ファーストダイヤルのエントリ] ポップアップウィンドウで、次のどちらかを実行します。</p> <p>[個人アドレス帳のエントリ] をクリックしてファーストダイヤルコードを既存のエントリに割り当てる。ドロップダウンメニューからエントリと電話番号を選択します。</p> <p>[電話番号を入力してください。] をクリックしてファーストダイヤルコードを電話番号に割り当てる。個人アドレス帳は使用しません。</p>
電話機でファーストダイヤルコードを割り当てる（アドレス帳を使用する）	<p>[サービス] > My Address Book（サービスの名前は異なる場合があります）の順に選択します。名前を入力し、[サブミット] ソフトキーを押します。検索結果を1つ選択し、[ファーストダイヤル] ソフトキーを押します。電話番号（自宅、職場、または携帯電話）を選択してから、ファーストダイヤル インデックス コード を選択します。これは、電話番号の代わりにダイヤルする番号です。OK を押します。</p>
電話機でファーストダイヤルコードを割り当てる（アドレス帳を使用しない）	<p>[サービス] > My Fast Dials（サービスの名前は異なる場合があります）の順に選択します。Assign ソフトキーを押し、ファーストダイヤル インデックス コード (1 ~ 99) を選択します。これは、電話番号の代わりにダイヤルする番号です。このインデックス コードに割り当てる電話番号を入力し、[サブミット] と OK を押します。</p>
電話機でファーストダイヤルコールを発信する	<p>[サービス] > My Fast Dials（サービスの名前は異なる場合があります）の順に選択します。ダイヤルするには、次のいずれか1つを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キーパッドを使用してファーストダイヤル インデックス コード を入力する。 • ナビゲーション ボタンを使用してコードを強調表示し、[ダイヤル] ソフトキーを押す。 • 電話機にタッチスクリーンが付いている場合は、コールするファーストダイヤルをタッチスクリーンで押します。

目的	操作
電話機でファーストダイヤルを削除する	[サービス] > My Fast Dials (サービスの名前は異なる場合があります) の順に選択します。ナビゲーション ボタンを使用してコードを強調表示し、 Remove ソフトキーを押します。[選択] と OK を押します。
ユーザオプション Web ページからファーストダイヤルを削除する	[メニュー] > [Cisco 個人アドレス帳の設定] の順に選択し、[ファーストダイヤル] をクリックします。削除するエントリの横にあるチェックボックスをクリックし、[選択項目の削除] をクリックします。



ヒント

- よりすばやく [ファーストダイヤル] メニューにアクセスするには、電話機で使用可能なプログラマブル ボタンにファーストダイヤル サービスを割り当てます。
- 短縮ダイヤル機能とは異なり、ファーストダイヤルは電話機で使用可能な回線ボタンの数に制限されません。最大 99 のファーストダイヤルを作成できます。

エクステンション モビリティの使用方法

エクステンション モビリティ機能を使用すると、ユーザはログインすることにより Cisco IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。ログインした後、その電話機には、回線（電話番号）、機能（たとえば短縮ダイヤル）、設定済みのサービスなどを含む自分のデバイス ユーザ「プロフィール」が適用されます。エクステンション モビリティは、仕事の関係で社内での移動が多い場合や共有の電話機を利用している場合に便利です。

個人アドレス帳サービスやファーストダイヤル サービスとは異なり、エクステンション モビリティ サービスでは登録の必要がありません。このサービスは、ユーザではなくシステム管理者が設定します。



(注) 電話機のサービス メニューに表示される EM ログイン サービスの名前は異なる場合があります。正確な名前はシステム管理者が決定します。

電話機のユーザに対してエクステンション モビリティが設定されるシナリオとしては、次に示す 2 つの一般的なシナリオがあります。エクステンション モビリティを使用する場合、これらのカテゴリのうちどちらか 1 つ（両方ではない）が当てはまると考えられます。どちらの場合でも、ユーザオプション Web ページからエクステンション モビリティをカスタマイズできます。

- エクステンション モビリティ サービスにログインした場合に限り、自分の内線番号やカスタマイズされた機能の設定（短縮ダイヤルなど）を適用する電話機を1台以上持っている。電話機や仕事を共有する場合もある。
- 自分の内線番号やカスタマイズされた機能の設定（短縮ダイヤルなど）を継続的に表示する電話機を1台持っており、その電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインする必要がない。また、エクステンション モビリティ を使用してその電話機にログインできる人がほかにいない。ただし、エクステンション モビリティ を使用して社内の他の電話機にログインすることはできない。移動中や自分の席から離れているときには、このサービスを使用することもある。

次の表は、エクステンション モビリティ の使用方法について説明しています。

目的	操作
エクステンション モビリティ サービスに登録する	このサービスは、ユーザではなくシステム管理者が設定します。
電話機でエクステンション モビリティ にログインする	[サービス] > EM Login （正確な名前は異なる場合があります）の順に選択します。プロンプトが表示されたら、デバイス プロファイルを選択します。ユーザ ID と PIN を入力します（ユーザ ID とデフォルトの PIN はシステム管理者から提供されます）。
電話機でエクステンション モビリティ からログオフする	[サービス] > EM Log out （正確な名前は異なる場合があります）の順に選択します。電話機に「Do you want to log out <your UserID>?」と表示されます。 Yes を選択します。
PIN を変更する	ユーザオプション Web ページにログインし、[メニュー] > [PIN の変更] の順に選択します。PIN は、エクステンション モビリティ などのサービスにログインするために入力するコードです。 PIN を変更すると、PIN を必要とするサービス（個人アドレス帳やファースト ダイヤルなど）が影響を受けます。PIN を変更した場合、これらのサービスは、使用する前に更新する必要があります。
エクステンション モビリティ プロファイルに関連付けられた設定、機能、およびサービスを変更する	ユーザオプション Web ページにログインし、エクステンション モビリティ プロファイルを選択します。表示されたエクステンション モビリティ プロファイル固有のオプションメニューで、設定、機能、およびサービスに対して任意の変更を加えます。たとえば、短縮ダイヤルを設定します（ログイン方法については、P.2の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください）。

目的	操作
エクステンション モビリティ プロファイルを Cisco IP Phone に適用する	電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインします。エクステンション モビリティ プロファイルに設定されている内線番号とすべての設定、機能、サービスは、ログイン後にその電話機に適用されます。電話機でエクステンション モビリティにログインしている間に、エクステンション モビリティ プロファイルに変更を加えた場合は、いったんログオフしてから再度ログインし、電話機で変更を確認する必要があります。



ヒント


- ユーザオプション Web ページで行った変更は、電話機でエクステンション モビリティ サービスに次回ログインしたときに有効になります。
- 電話機だけで制御される設定（コントラストや音量など）は、エクステンション モビリティ プロファイルには保持されません。
- エクステンション モビリティは、一定の時間が経過すると自動的にユーザをログアウトします。この時間制限は、システム管理者が設定します。
- 一度に 1 台の電話機にしかログインできません。別の電話機を使用する場合は、最初の電話機からログオフする必要があります。
- エクステンション モビリティを使用してログインまたはログアウトすると、コールバック機能に関連付けられたアクティブ コールの完了は自動的にキャンセルされます。
- コールバックをアクティブにした場合に転送先の電話機がシステムから削除されていると、[ダイヤル] を押すか受話器を取り上げたときに速いビジー音が聞こえることがあります。このような場合は、最初のコールバック要求をキャンセルするか、またはその電話機へのコールバックの再開を試行します。

Cisco Web Dialer の使用方法

Cisco Web Dialer を使用すると、社内ディレクトリにリンクした電話番号をクリックすることにより Web からコールを発信できます。

Web Dialer へのログインに使用するユーザ ID とパスワードは、ユーザオプション Web ページへのアクセスに使用するユーザ ID とパスワードと同じです。エクステンション モビリティと同様に、Web Dialer の場合も登録の必要がありません。この機能は、ユーザではなくシステム管理者が設定します。エクステンション モビリティなどのサービスとは異なり、Web Dialer はユーザオプション Web ページのサービスのリストには表示されません。

次の表は、Web Dialer の使用方法について説明しています。

目的	操作
Web Dialer に登録する	この機能は、ユーザではなくシステム管理者が設定します。
初めて社内ディレクトリの Web ページからダイヤルする	<p>Web Dialer への最初のログインが成功すると、[初期設定] ダイアログ Web ページが開きます。</p> <p>コールに使用するデバイス (Cisco IP Phone など) を選択するか、またはエクステンション モビリティのオプションを選択します。コールに使用する回線と言語を選択します。</p> <p> (注) エクステンション モビリティ ユーザ デバイス プロファイルは、通常は「EM」で始まります。詳細については、P.16 の「エクステンション モビリティの使用法」を参照してください。エクステンション モビリティを使用するかどうかについては、システム管理者から指示があります。</p>
社内ディレクトリの Web ページからダイヤルする	Web ブラウザを起動して、社内ディレクトリのページへ移動します。ユーザ ID とパスワードを入力します (社内ディレクトリの URL、ユーザ ID、およびパスワードは、システム管理者から入手できます)。コールを発信するには、ディレクトリの番号をクリックして [ダイヤル] をクリックします。コールを終了するには、[コールの終了] をクリックします。あるいは、Cisco IP Phone から切断することもできます。
自動ダイヤルを設定する	番号に自動的に接続して、[コールの開始] ダイアログ Web ページを表示しないようにするには、[コールの確認ダイアログを表示しない] チェックボックスをオンにします。
設定を変更する	[コールの開始] ダイアログ Web ページで、[初期設定] をクリックし、設定を変更します。
Web Dialer からログアウトする	[コールの開始] ダイアログ Web ページで、[WebDialer からログアウトする] をクリックします。

